



日々新聞

第 七 三 号

大阪府下道頓戸多々川竹小洗ひ上げ
 くら世渡りのかりと立意気地を立通々の破
 の久し限るべし爰に三々其へるる早く文明
 此時小通し日この新聞を覗て心を慰を
 坐鋪の袖透間をく括言て曰一トウモ新報
 紙をよまねと人法にあらやうを「そらう
 おいそふたあををそめつるの心を後を
 いままかかやまはヨ」夫のせう流りの新聞
 珍画もよくはばかひてうれはダヨと世を
 深暗の羨談をよむる色の諸談の勉強は
 南校の花敷う日々は盛あり

たーあや
 あは小席
 為化務
 花源堂



花源堂

花源堂

花源堂

花源堂